



[令和 6 年 3 月 13 日 定例会発表要旨]

北海道のヒグマ対策史

手稲郷土史研究会 会員 武市 尚子



ヒグマは北海道の自然を象徴する野生動物ですが、先住民であるアイヌの人々にとっても、キムンカムイ（山の神）として食料となる肉や資源を授けてくれる畏敬、畏怖の対象でありました。

昭和 37（1962）年、十勝岳大噴火による降灰の影響等によりヒグマによる人身・家畜及び農作物に甚大な被害があり、翌年「ヒグマ捕獲奨励事業」が開始されました。さらに昭和 41（1966）年に「春グマ駆除」が開始され、被害は減少したものの、生息環境の悪化もあいまって地域により個体数が顕著に減少したため、平成元（1989）年をもって「春グマ駆除」は廃止されました。

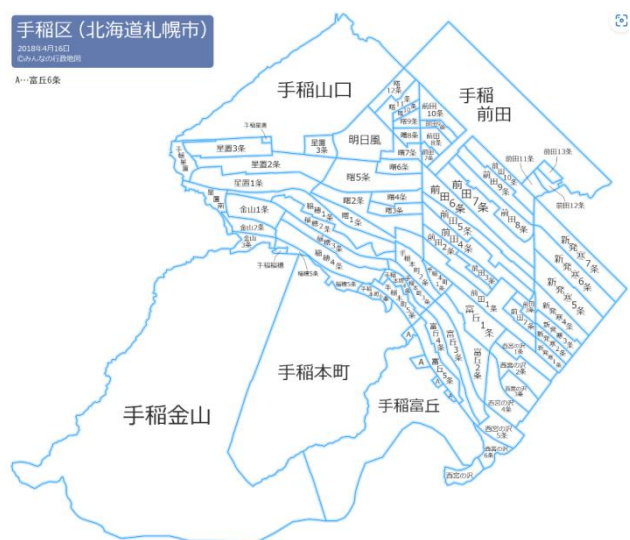
しかし近年、札幌市内など都市部においてヒグマの出没が増加し、人とのあつれきが深刻化しています。その原因として、個体数の増加や、人の生活圏に近い地域で暮らす、人の存在を恐れない個体、いわゆる「アーバンベア」が増加していることが指摘されています。そこで北海道では「北海道ヒグマ管理計画（第 2 期）」を策定し、「春期管理捕獲」や「ゾーニング」の考えにより、適正な管理の推進を目指しています。

札幌市では「さっぽろヒグマ基本計画 2023」を策定し、札幌市内におけるゾーニングの考え方を示しています。手稲区に当てはめると、概ね旧国道五号線より山側が森林ゾーン、海側が市街地ゾーンとされています。森林総合研究所の大西博士によると、手稲区は南区や西区よりも住宅地が森林と接する境界線（林縁長）が短いため、それらの区より住宅地に出没する頻度が少ないのではないかとのことですが、手稲区の多くが森林ゾーンに分類されていることもふまえると、ヒグマの出没を抑える取組みや出遭ってしまったときの対処法の啓発が必要であると考えます。



手稲区のゾーニング

(参考: 札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課,
「さっぽろヒグマ基本計画 2023」,p33 図 28)



手稲区(北海道札幌市)

(出典: web サイト「みんなの行政地図」)

さっぽろヒグマ基本計画 2023 では、手稲区は、概ね(旧)国道 5 号線より山側が森林ゾーン、海側が市街地ゾーンとされている。

手稲警察署でも、市民に対する啓発活動として、ヒグマを近づけない、ヒグマに遭わない、ヒグマに遭ったときに被害者にならないための冊子（スライド資料）を配布しています。今後、クマ類が指定管理鳥獣となる見込みであり、その場合捕獲や調査などにかかる費用について国が支援する対象となります。より正確な生息数把握により、適切な個体数調整、管理が可能となります。一方、捕獲を担うハンターの高齢化や不足にも対処する必要があります。ヒグマによる人身被害の最も多くは、狩猟や許可捕獲の際に逆襲にあったものであり、誰もが簡単に捕獲に従事できるわけではありません。ハンターの養成や捕獲時の費用やその後の処理体制等についても早急に検討する必要があります。

北海道においても、今年度はヒグマ対策の予算が増額され、野生動物対策担当局長を新設するなど人員も拡充されることとなりました。今後各振興局において専門人材を活用しつつ、地域性を考慮したヒグマ管理を行っていくこととなります。

人間の安全な暮らしを守るために、ヒグマとのあつれきを減らさなければいけないことはもちろんですが、その先にある目標は、ヒグマは山で、人は街でと住み分けることによる共存ではないかと思えます。

★手稲区の歴史関連サイトのご紹介

札幌市手稲区役所ホームページ内にあります「手稲区史跡ガイドホームページ」「手稲区歴史ホームページ」をご存知ですか？手稲郷土史研究会が写真提供しております写真も紹介されております。お子様、保護者の方、親子で手稲区の歴史にご興味あるという方もぜひご覧ください。



手稲区史跡ガイドホームページ <https://www3.city.sapporo.jp/teine/teineguide/>

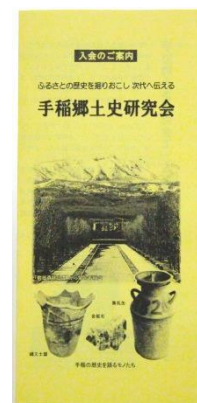
手稲区歴史ホームページ <https://www3.city.sapporo.jp/teine/index.html>

★手稲郷土史研究会会員募集中！

手稲郷土史研究会では、手稲区と手稲区に関する歴史・文化に興味があり、一緒に学んでいきたい方の入会を随時募集中です！毎月1回、手稲区内にて定例会を開催し、会員による研究発表や外部講師を迎えての講演等を行っています。定例会では会報誌「郷土史ていね」を配布し、希望する会員へ郵送、メールもお送りしております。年会費3,000円、入会金不要です。入会は入会申込書、またはメールからお申し込みください。折り返しご連絡致します。

入会申込書から…手稲郷土史研究会パンフレットにあります「入会申込書」に必要事項を記入し手稲郷土史研究会会員へお渡し、またはご郵送ください。

メールから…氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記載し、手稲郷土史研究会メールアドレス teinekyoudoshi@gmail.com までお申し込みください。



手稲郷土史研究会
パンフレット

いただいた個人情報につきましては当研究会の活動にのみ使用し管理致します。

☆手稲区の歴史に関する情報募集中！手稲郷土史研究会までお寄せください！☆

次回定例会 ⇒ 発表内容「手稲に関わる和田家のルーツ」和田 敬友 氏（元北海道議会議員）

5月8日（水）18：15～ / 手稲区民センター 3階 視聴覚室 ※会員でない方のご参加は事前の申し込みが必要です。

手稲郷土史研究会会報「郷土史ていね」第192号 令和6年4月10日発行

発行責任者：沖田紘昭（手稲郷土史研究会 会長） 編集：岡和田夢子

☎〒006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林俊一方 手稲郷土史研究会 ☎TEL 090-3381-4994 ☎FAX 011-682-9874

✉メールアドレス teinekyoudoshi@gmail.com <担当 岡和田>